

## 微生物変異原性試験研究会 (JEMS・BMS) 第 35 回定例会のお知らせ 「NEGATIVE」シンポジウムのお知らせ

### **BMS 研究会第 35 回定例会を下記の要領で開催いたします。**

今回は、「Ames 試験を再確認する」をテーマに、試験に使われる菌株の突然変異検出のメカニズムをあらためて確認し、試験の感度、信頼性を維持、向上させるための研究者の取り組みについて考える場にしよう企画しました。基礎的な突然変異誘発のメカニズムについての特別講演、また BMS からの精度管理試験に関する新たな提案をもとに、皆さんと Ames 試験をあらためて考えてみようと思います。会員、非会員を問わず、多数の皆様参加をお待ちしております。

日時： 2005 年 11 月 15 日 (火) 18:00~20:00

場所： 青山学院大学 総合研究所第 16 会議室 (9F)

青山学院正門より入り右手すぐの総合研究所ビル (大学 14 号館)

参加費： 無料

プログラム： 1) 招待講演

「アッセイに使う菌株について理解を深める」

—いまさら聞けない質問にもお答えします—

山田雅巳先生 (国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部)

Ames 試験に用いられている菌株の特性、導入遺伝子の役割から高感受性のしくみなどを、会場からの質問に随時お答えいただく形式で、わかりやすく解説していただきます。

2) 精度管理試験アンケートの集計報告、BMS からの精度管理試験の提案

3) 庶務連絡 他

連絡先： 加藤雅之 (BMS 研究会会長, 日本生物科学センター Genetic Laboratory)

e-mail : [jbs@alto.ocn.ne.jp](mailto:jbs@alto.ocn.ne.jp), Tel : 048-582-3460

### **「NEGATIVE」シンポジウムのご案内**

また 11 月 18 日には、日本環境変異原学会第 34 回大会におきまして MMS 研究会、BMS 研究会が協賛・後援する下記のシンポジウムが企画されています。会員の皆様の、多数の参加をお願いいたします。

#### **「NEGATIVE」シンポジウム—Negative data の真価を問い直す—**

研究、開発など様々な立場からの話題が提供されます。また統計学的手法による negative の保証、GLP で要求される negative の条件についての話題をふまえ、遺伝毒性が negative であることを証明するためにはどうすればいいのかについて考えます。シンポジウムの詳細につきましては、第 34 回大会のホームページをご覧ください。